

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立静原小学校)

1 平成26年度 重点評価項目

1. 確かな学力の育成(自ら学び、自ら行動していこうとする学習活動)
2. 豊かな心の育成(自分の目標を持ち、目標に向かって頑張る子)
3. 健やかな体の育成(基本的生活習慣の確立、体力の向上)

2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
						評価日	平成26年9月25日	評価日	平成26年10月7日
						評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策	学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
1	確かな学力	主体的に考え、表現し、伝え合える能力の育成 読書の習慣化 家庭学習の習慣化	自覚的実行力の意識化を図り、主体的な学びの構築する・個の見取りの構築する 100冊読書の定着 朝読書の確実な実施 学校だよりによる啓発活動	児童の話す・聞く態度の変容・児童の学習意欲の変容 読書に対する意識・意欲の変容・読書冊数・移動図書館等貸出し状況 家庭学習の習慣化の変容	児童は、勉強が分かったと回答・ねばり強く学習できていないと回答 読書冊数は、昨年度より全体数は増加しているが、伸びていない児童もいる 児童は、家庭学習をしているが、保護者から見た習慣化の実現度は低い	⇒	・静原タイムや校外での発表機会の活用により、発表することや発表を聞いての感想交流が充実するようになってきている。 ・読書冊数は増加している。 ・ねばり強く学習に向かうこと、自分の学習課題をしっかりと持って学習に向かうことが課題となる。	⇒	・授業の中で自分の学習課題をしっかりと持ち、自ら探究し、進める学習活動を進める取組をさらに充実させる。 ・「自学自習のすすめ」を個別懇談会等で活用する。 ・宿題の出し方・量について見直す。
2	豊かな心	望ましい言葉づかいや挨拶の徹底 やらなければならないことへの意欲 協働活動を通じた豊かな心の育成	いろいろな場面での発信と地域ぐるみの取組 ボランティア活動の実践 自覚的実行力の実践奨励 ・人権の木の取組～行動 ・保護者・地域との体験	子どもが進んで挨拶をすること・丁寧な言葉づかいをすること 家の仕事の手伝いをすること ・人を大切にすること ・きまりや約束を守ること	あいさつの実現度は高い。言葉遣いの実現度は低い 児童の実現度は高いが、大人から見た実現度は低い 「できている」児童の割合は高い。大人からの評価は、高くない	⇒	・言葉づかいや挨拶などの実現度は児童に比べて、大人から見た実現度は低い。 ・自覚的実行力を意識して、自らボランティア活動をしたり、気づいたことの改善行動を進めようとする場面が多くなっている。 ・行動目標を言葉にして絶えず意識させると効果となって表れる。	⇒	・言葉づかいについては、見逃さない指導を徹底する。校内での共通行動をする。 ・自覚的実行力の実現場面の紹介を進める。個の見取りの充実。 ・ボランティア活動、体験活動への積極的な参加を勧める。
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立 体力の向上	早寝・早起き・朝ごはん・歯磨きの呼びかけ ・遊びやスポーツを通じた運動の習慣化 ・運動交流に向けた取組	早寝・早起き・朝ごはん・歯磨きなどできていますか ・元気で運動したり遊んだりしていますか・交流会への参加状況及び体力テストの結果	実現度は、高い・早寝の実現度は低い 運動をする実現度は高いが下がり傾向 児童数は参加している	⇒	・早起き・朝ごはん・歯磨きはさらに実現度を上げていきたい。早寝がかたである。 ・みんなで元気に体を動かすことが確実に進められるようにすることが課題となる。	⇒	・保健室だけでなく、学級通信等でも積極的にトピックとして取り上げる。 ・休み時間の楽しく体を動かす活動が確実に進むように学校全体で児童を見取り声かけをする。
4	独自の取組	安全で学習しやすい環境であること 情報発信の充実	・教職員、PTA、地域と共にする環境整備 ・見守り活動 ・学校を使つての様々な取組の実施 積極的なホームページの更新	・学習しやすい環境であること ・教室や校地には限りがあり、広くならないが、整備している 学校ホームページへのアクセス数	・取組の充実、回数も多く人的環境協力体制が確立している ・教室や校地には限りがあり、広くならないが、整備している 今年度(前期)の年間アクセス数5900回	⇒	・学習環境、安全については整備されたり地域協力を得られたりできている。 ・ホームページについては、各担任の更新が増加し、閲覧状況が伸びている。	⇒	・より良い学習に向けて、地域の方々の協力はありがたい。うまく協力していただけるように計画的に進める。 ・ホームページは、学年からの発信を増やす方向で更新頻度をさらに上げ、見てもらえるような情報発信を保護者・地域に行う。